

## 2016連合大阪春季生活闘争総決起集会宣言

「底上げ・底支え」「格差是正」で経済の好循環をめざす 2016 春季生活闘争は、最大の交渉局面を迎えようとしている。

わが国は、超少子高齢化・人口減少という構造問題に直面するとともに、雇用形態や企業規模による収入格差の拡大、増大し続ける非正規雇用、長年続く賃金抑制の傾向などによってマクロにおける分配のゆがみは強まり、傷んだ雇用と労働条件の復元が成し遂げられていない。今、わが国の経済社会に問われているのは、明日への確信をどのように作っていくかであり、そのために今必要なことは国民生活の安定と向上を前提とする経済成長の実現である。

一方、日本経済は、先日発表された 2015 年 10 月～12 月期国内総生産(GDP)速報値が、2 四半期ぶりのマイナスになる等、景気の回復が足踏み状態にあることが確認された。このような中、「デフレからの脱却」と「経済の好循環」のために、私たち労働組合が今果たすべきは、月例賃金の引上げが持続するという確信をもたらすことであり、とりわけ地場の中小企業や非正規雇用で働く仲間、労働組合のない職場で働く仲間の処遇改善に全力で取り組むことである。

連合 2016 春季生活闘争では、これまでの春季生活闘争のメカニズムを十分活かしつつ従来の「大手追従・大手準拠」などの構造を乗り越える取り組みに挑戦していく。サプライチェーン全体で生み出した付加価値を適正に分配する公正取引の実現に労使で取り組むことはもとより、今春闘の取り組みの結果を、最低賃金の引き上げに結びつけなくてはならない。

また、安倍政権は、昨年労働者派遣法の改悪に引き続き、今国会においても労働法制改悪を執拗に継続しようとしている。これらの政策は、労働者の生活、雇用関係を不安定化させるにとどまらず、労働者の生命や健康まで脅かすもので、決して容認できない。連合大阪は連合の提起する新キャンペーン「クラシノソコアゲ応援団！2016RENGO キャンペーン」に結集し、労働者保護ルール改悪阻止に向けた大衆運動も強化する。

私たち、連合大阪は、すべての働く者・生活者の希望と安心を取り戻し、「働くことを軸とする安心社会」を実現するため、本集会の名において、一人ひとりの力を大きくひとつに結集し、社会的意義の極めて高い 2016 春季生活闘争を闘い抜くことを宣言する。

2016 年 3 月 4 日

2016 連合大阪春季生活闘争総決起集会